

地域安全安心ステーション 事業開始式が行われました

八月二十四日(月) 玖珠警察署で警察庁指定の「地域安全安心ステーション」推進事業開始式が行われました。



玖珠警察署で、防犯用品の貸与が行われました

犯活動に対して支援するものです。

推進事業実施地区は全国で二〇〇地区選定され、大分県では四地区のうち「玖珠地区自主防犯パトロール隊」が選定されました。

開始式では、永富玖珠警察署長の挨拶の後、来賓として後藤玖珠町長の挨拶、大分県警察本部生活安全部管理官から挨拶と共に防犯用品の貸与が行われました。「玖珠地区自主防犯パトロール隊」は平成十九年に結成され、現在二二〇名の方が「子ども見守り活動」を主体に活動を行っています。この選定を機に一層の防犯活動に取り組んで参りたいと思います。

これは地域住民による自主防犯活動の支援・活性化を図るため、警察庁が平成十七年度から実施している推進事業で、地域住民が自主的に管理・運営する施設を「地域安全安心ステーション」と位置づけ、ここを中心に行われている自主防

8月9日、春日小学校体育館で、山浦川ゆめ公園夏祭りが開催されました。

このお祭りは、山浦地区ふるさとづくり活動協議会(会長梅木稔正)の主催で今年で8回を迎え、山浦の夏の恒例行事となっています。

山浦出身の歌手三代沙也可さんを迎えての歌謡ショーやカラオケ大会、盆踊りなどが行われ、地区内外から訪れた多く

山浦川ゆめ公園夏祭り



の皆さんで会場は大いに盛り上がりました。

8月26日くすふれあいホールで、コミュニティ教育文化部会と玖珠地区青少年健育成協議会の主催による、「夏休み木工教室」が、小学生・幼児合わせて21名の参加で開催されました。

指導協力者14名、保護者8名の指導を受けながら、用意された桜の木や柿の木を使ってカブトムシやクワガタ、カタツムリを作りました。

ノコやナイフで、昆虫の頭と胴体の部分



の型を作り砂やすりやペーパーを使って、表面をきれいに整えていきました。

夏休み木工教室

ドリルで穴をあけて、つのと足をバランスよく差し込んでいく作業で苦勞している子ども達が多かったようですが、普段何気なく見ている昆虫についての学習もできました。

桜の木の模様を活かしてニスだけで仕上げた昆虫たちは、今にも動き出しそうな出来栄えて、夏休みの貴重な体験と手作り作品に満足そうな笑顔でした。

